

2023 夏大会 諸注意

(1) BIRD P 31 の注意事項

白一色の着衣を使用する場合には、上衣は衿付き半袖、下衣は男子ショートパンツ、女子ショートスカートまたはショートパンツとする。色つきの着衣を使用する場合およびシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。

※ハーフパンツについても、審査合格品のみ着用可とする。

大会に出場する際は検定品のユニフォームの着用をしてください。



某メーカーの**体操服とTシャツ**ですが大会での着用して試合参加はできません

色付きの場合は、ウェアとパンツとも**審査合格品**を購入してください！



このマークがある商品です！



日本バドミントン協会検定合格品です。

*冬については、アンダーウェアについての違反が多いです。以下について確認してください

- ・審査合格品でないウェア

長袖の下着



審査合格品でないアンダーウェア



使用をする場合は審査合格品を使用してください



日本バドミントン協会審査合格品
※着圧感のあるウェア（コンプレッションウェア）です。

↑カタログに記載があります

(2) BIRD P35 サービス高について

サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から、1.15m 以下でなければならない。など

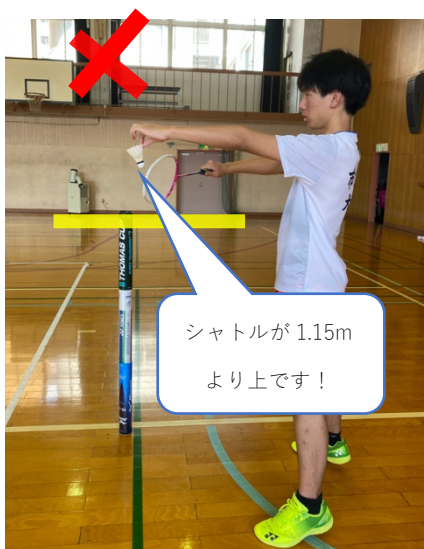
*シャトルの筒、3本分がわかりやすい目安です。1.10m 前後になります。

○ 正しいサーブ位置：打った瞬間が **1.15m 以下**です

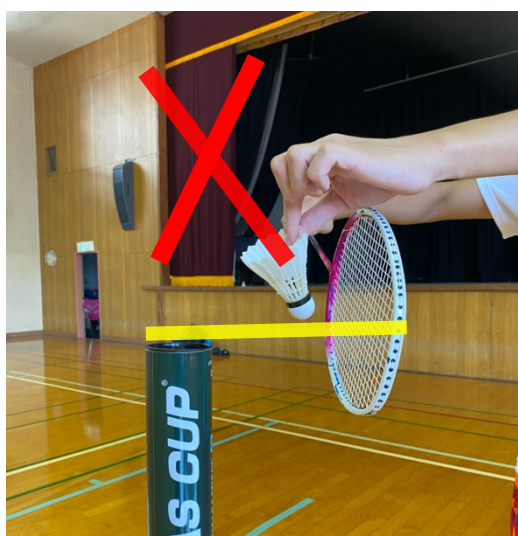


シャトルが 1.15m 以下です！GOOD！

× サービスフォルトになる例



シャトルが 1.15m 以上です！



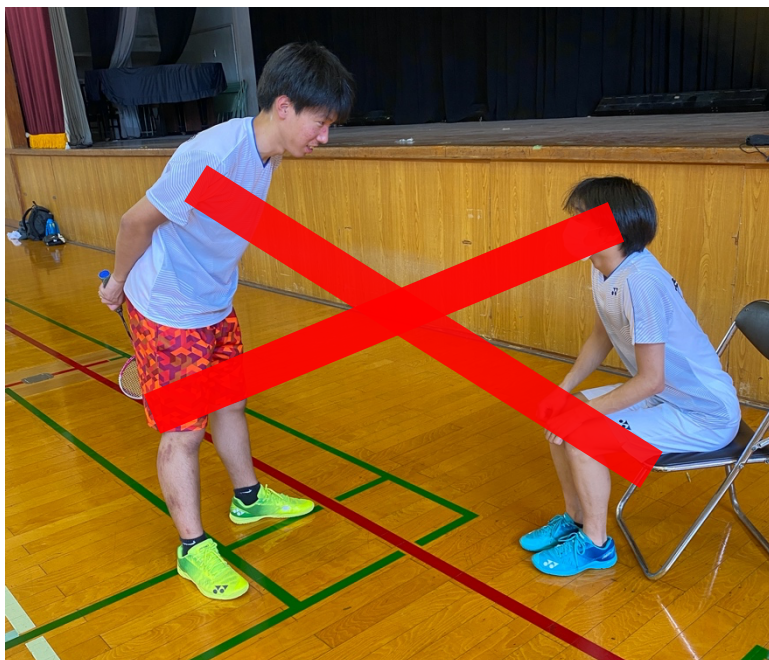
ロングサーブを打つ際に、打点が上がってしまうケースがよくあります。練習の際には、確認するようにしてください。

(3) 試合でのマナーについて (ゲーム中によくある場面)

① 審判とは話をしないこと

主審や線審は審判であり、ゲームを行う選手にとっては平等な存在であるべきです。試合中は話をしないようにしましょう。

* 試合の途中で、線審の先輩にアドバイスをもらうはダメです！



② BIRD P40 プレーの遅延について

ダブルスでラリー毎に話をしてプレーの流れを止めることは、試合の進行を妨げます。



顧問の先生やコーチのコーチングシートでのインプレー以外の声かけは可能ですが、高校生はコーチングシートにつくことはできません。インターバルの際にアドバイスへ行くのは、顧問・生徒も合わせて2名までなら可能です。

コーチングの言葉かけについても、プレーの遅延にならないようにしてください。BIRD P33・34を参考にしてください！

